

医療機関向け

医療機関・薬局間の連携テスト実施手順書

令和7年12月1日 1.10版

厚生労働省医薬局

医療情報提供実施機関

本書

1. はじめにお読みください	P. 2
2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について	P. 3
3. 連携テストで利用する環境・機器について	P. 5
4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項	P. 6
5. 連携テスト実施手順フロー	P. 7
6. 連携テスト実施手順 -環境確認（事前準備）-	P. 8
7. 連携テスト実施手順 -テスト準備-	P.14
8. 連携テスト実施手順 -テスト実施-	P.20
9. 連携テスト実施手順 -テスト実施後-	P.23

参考資料

- 環境確認～連携テスト準備完了時点イメージ（詳細版）
- 参照資料一覧
- 改訂履歴

1. はじめにお読みください

本書には、電子処方箋等の運用にあたり、医療機関・薬局間で一連の運用を確認、連携するテスト（以下、「連携テスト」という。）を行う際の注意事項や手順等を記載しています。



- 本書は、普段業務を行う本番環境と、連携テスト等に使用する接続検証環境（テスト環境）の違いをご理解いただいた上で、医療機関・薬局間で連携テストを実施するためのシステム改修に加え、その他の準備や設定が完了している施設向けの手順書となります。
 - 連携テストに必要となる主な事前準備については、「4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項」をご確認ください



- 本書では、医療機関職員による連携テストの実施手順のうち、特に以下の工程について解説しています。
 - － オンライン資格確認等システム・電子処方箋管理サービスの接続検証環境（テスト環境）への接続先切替え・切戻し
 - － 資格確認
 - － 処方箋登録
 - － （薬局側の調剤結果登録後）調剤結果取得

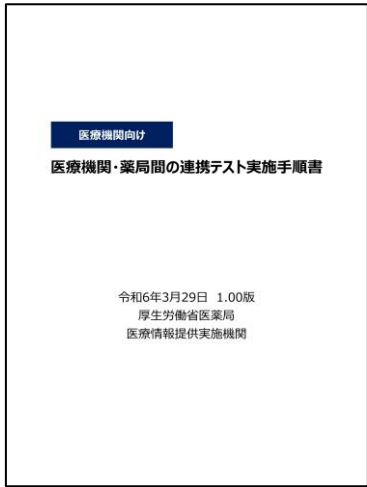


- 本書は、**資格確認端末経由の連携方法**を前提としています。また、顔認証付きカードリーダーを利用したテスト及びマイナ在宅受付Webによる電子処方箋利用のテストは本書の対象外としています。

2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について

資料構成

- 医療機関向け 医療機関・薬局間の連携テスト実施手順書（本書）



- 連携テストを実施する際の手順、注意事項を記載しています。

- 医療機関向け 連携テストを実施する際のチェックリスト（別紙）

- 連携テストを実施する際に確認すべき内容を記載しています。
- 本書とチェックリストを併せてご確認ください。

本書の表記について

- 本書内に記載されている記号等の凡例は以下のとおりです。

記号等	説明
	特にご確認いただきたいポイントについて説明しています。
	特にご注意いただきたい点について説明しています。
「 」	入力内容、選択項目等を表しています。
《 》	画面項目、ボタン名を表しています。
[]	画面名を表しています。
『 』	参照先を表しています。

2. 資料構成及び本書で用いる表記・用語について

本書で用いる用語について

用語	説明
資格確認端末	患者の資格確認等を行う際に使用する端末のことです。
連携アプリケーション	医療機関・薬局の電子カルテシステム、レセプトコンピュータ等とオンライン資格確認等システム及び電子処方箋管理サービスが連携するために必要なアプリケーションです。
連携アプリケーション用アカウント	連携アプリケーションによりオンライン資格確認（障害・災害時の資格確認機能を除く）、薬剤情報、診療・薬剤情報、特定健診情報及び処方箋の発行形態を取得するために利用します。
環境切替えツール	連携アプリケーションの接続する環境を切り替えるためのツールです。
テスト用資格情報	テスト用資格情報とは、テストでの資格確認に使用する資格情報（保険者番号、被保険者資格に係る記号、番号、枝番等）を指します。
引換番号	処方箋ごとに発行される6桁の番号です。薬局で資格確認書を使って受付をする場合や、FAXやアプリで事前に処方内容を薬局に送る場合に必要になります。引換番号は、電子処方箋の処方内容（控え）やマイナポータルから確認できます。

3. 連携テストで利用する環境・機器について

医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境



- オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービスの接続先環境には本番環境と接続検証環境（テスト環境）があります。
- 医療機関・薬局間の連携テストでは、**接続検証環境（テスト環境）**を利用します。
- **通常の業務でオンライン資格確認、電子処方箋を使用するために、テスト実施後は、必ず本番環境へ再度の切替え（切戻し）を行ってください。**

環境	説明
本番環境	通常の業務（実患者）で使用する環境
連携テストで利用する環境	接続検証環境 テスト（テスト患者）で使用する環境

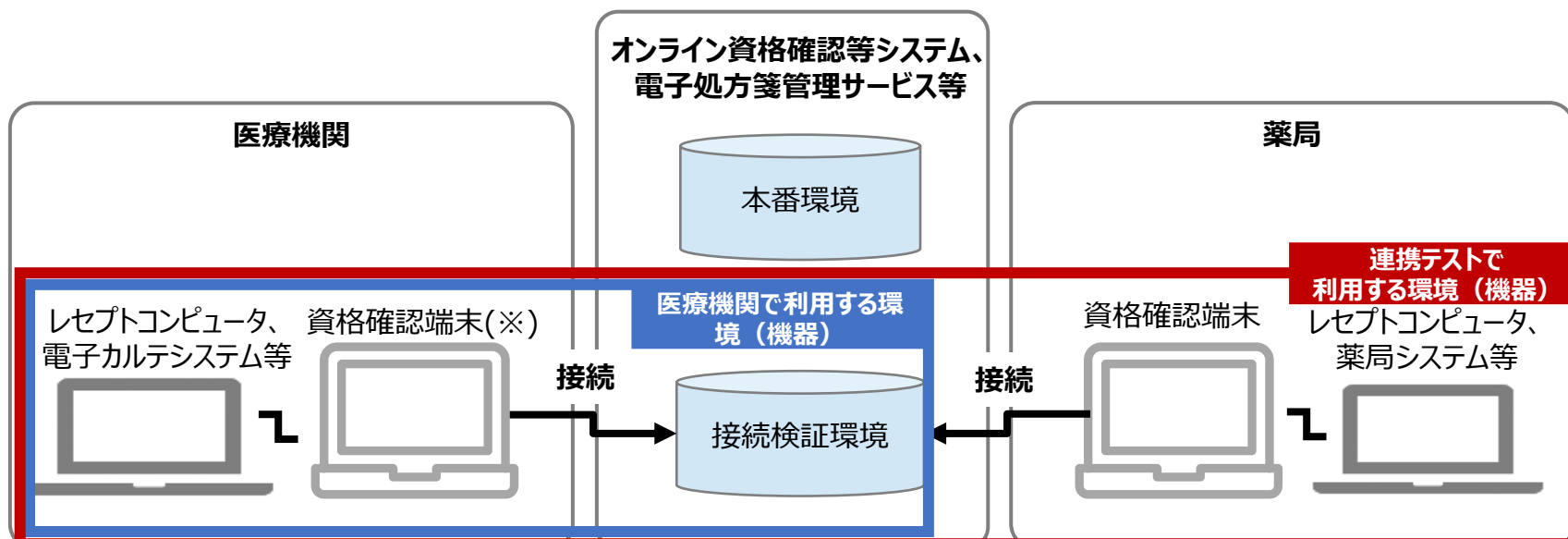
接続検証環境（テスト環境）の利用可能時間について

- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際の接続検証環境（テスト環境）の利用可能時間は、以下のとおりです。
【利用可能時間】
月・火・木・金・土 9時～22時
水 9時～18時
日・祝日 利用不可
- 接続検証環境（テスト環境）に接続中は、通常の業務（実患者）でオンライン資格確認・電子処方箋の使用ができないため、ご注意ください。

医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境（機器）



- 医療機関・薬局間の連携テストで利用する環境（機器）は以下の通りです。



(※) 資格確認端末が複数台ある場合は、1台を接続検証環境に切り替え、テストを行ってください。

4. 医療機関・薬局間で連携テストを実施する際の準備と注意事項

連携テスト実施にあたり、本書に示す手順のほかにも、テストに使用するデータの用意、実施施設間の連携など、様々な事前準備が必要となります。

医療機関・薬局間の連携テストで使用するデータについて

- 連携テストでは、実患者のデータは使用できません。
- 連携テストでは、以下のテストデータを使用します。
 - テスト用資格情報（保険者番号、被保険者資格に係る記号、番号、枝番 等）
 - テスト用の処方箋情報
- 連携テストを実施する際、テストデータが実患者のデータと混同しないよう、営業終了後などに実施ください。

連携先施設について

- 医療機関・薬局間で連携してテストを実施する際は、実施内容や手順、トラブル時に連絡が取れるよう、事前に十分な打ち合わせを行い、日程を調整してください。
- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際は、医療機関で作成したテスト用資格情報と引換番号を薬局へご連携ください。

システム事業者への確認について

- 医療機関・薬局間の連携テストを実施する際は、システム事業者にテストを実施する旨、実施日等をご相談の上、実施してください。
- 連携テスト実施までに必要なツールの設置やシステム設定が完了できるよう、システム事業者とよくご調整ください。

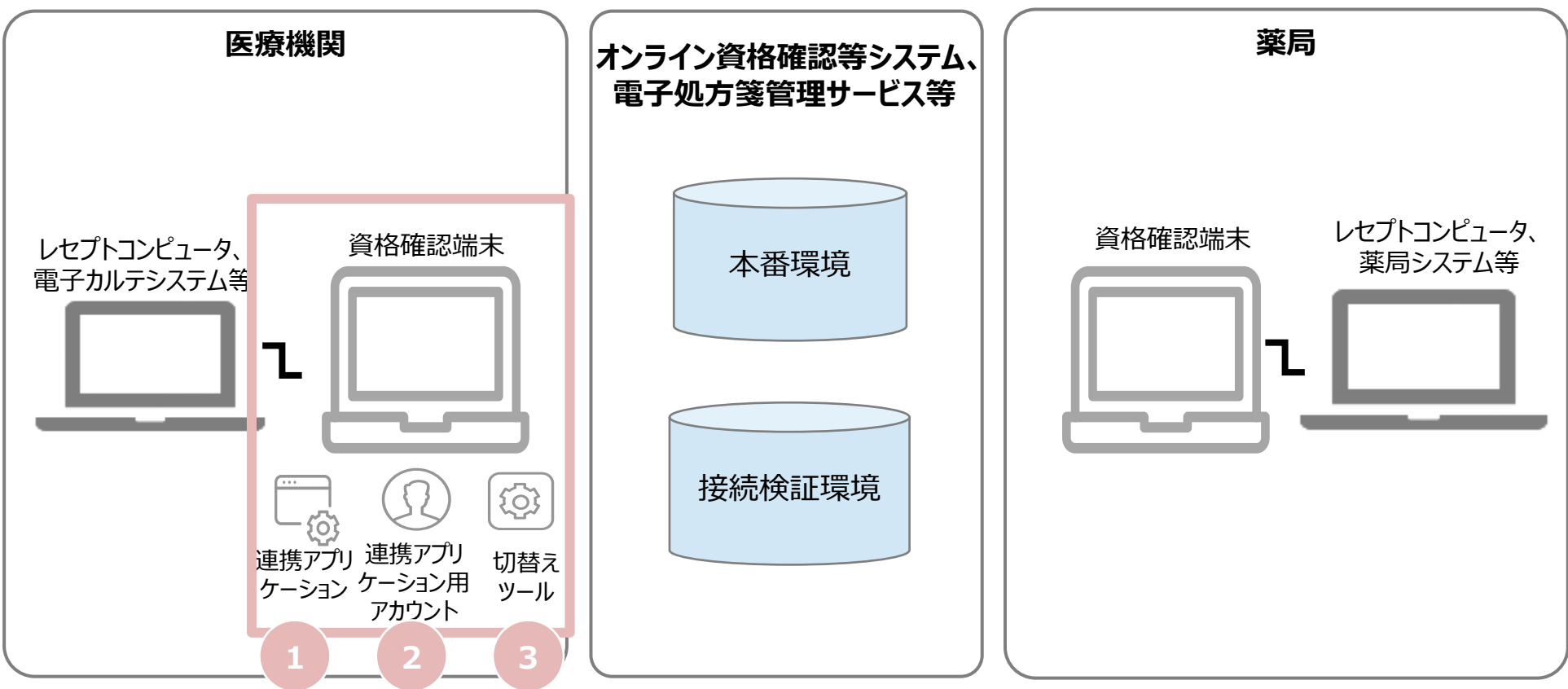
5. 連携テスト実施手順フロー

医療機関・薬局間の連携テスト実施時における、医療機関向けの実施手順は**11**手順あります。

フェーズ	実施手順	実施主体者	参照ページ	
環境確認 (事前準備)	1 連携アプリケーションの確認	医療機関・薬局	P.8-9	
	2 連携アプリケーション用アカウントの確認	医療機関・薬局	P.10-11	
	3 環境切替えツールの確認	医療機関・薬局	P.12-13	
テスト準備	4 接続検証環境 (テスト環境) への接続設定 (切替え)	医療機関・薬局	P.14-16	
	5 テスト用資格情報の作成	医療機関	P.17-18	
	6 レセプトコンピュータ等へのテスト用資格情報の登録	医療機関	P.19	
テスト実施	7 オンライン資格確認の実施	医療機関	P.20	
	8 処方箋の登録、引換番号の取得	医療機関	P.21	
	9 テスト用資格情報と引換番号を薬局へ連携	医療機関	P.22	
	オンライン資格確認の実施	薬局	-	
	処方箋の受付、調剤結果の登録	薬局	-	
	調剤結果登録完了の旨を医療機関へ連携	薬局	-	
	10 (薬局側の調剤結果登録後) 調剤結果を取得	医療機関	P.22	
	11 本番環境 への接続設定 (切戻し)	医療機関・薬局	P.23-25	
	テスト実施後			

6. 連携テスト実施手順 -環境確認 (事前準備) -

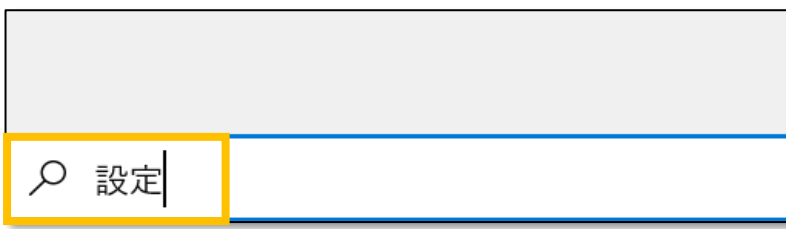
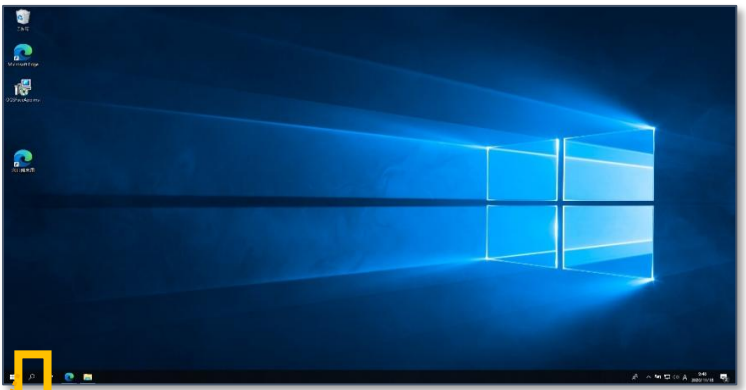
環境確認のフェーズでは、接続先システムを接続検証環境 (テスト環境) に切り替えるために、必要なツールや情報がそろっているか確認を行います。



必要なツールや情報がそろっているか確認

1 連携アプリケーション (※) の確認

1. **資格確認端末**を起動し、[デスクトップ]画面下部にある《検索》アイコンをクリックし、検索ボックスに「設定」と入力します。



2. 検索結果から《設定》をクリックします。

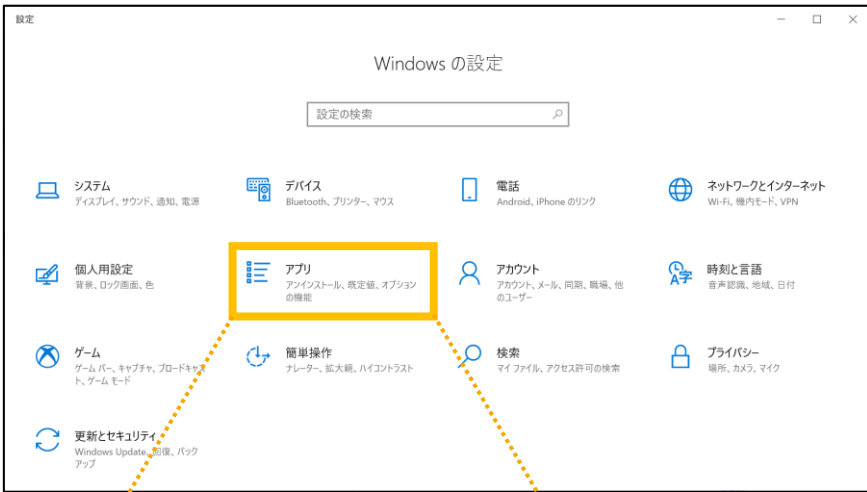


(※) 連携アプリケーションとは、医療機関・薬局の電子カルテシステム、レセプトコンピュータ等とオンライン資格確認等システム及び電子処方箋管理サービスが連携するために必要なアプリケーションのことです。

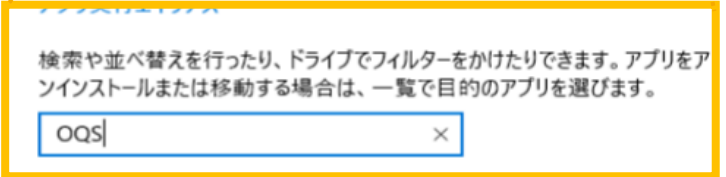
1

連携アプリケーションの確認

3. [Windowsの設定]画面が表示されます。画面の中のメニューから《アプリ》をクリックします。



4. 《アプリと機能》をクリックし、検索ボックスに、「OQS」と入力します。



5. 検索結果が表示されます。



OpsComAppが表示される

連携アプリケーションのインストールが完了しているため、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、**手順2 連携アプリケーション用アカウントの確認**に進んでください。

OpsComAppが表示されない

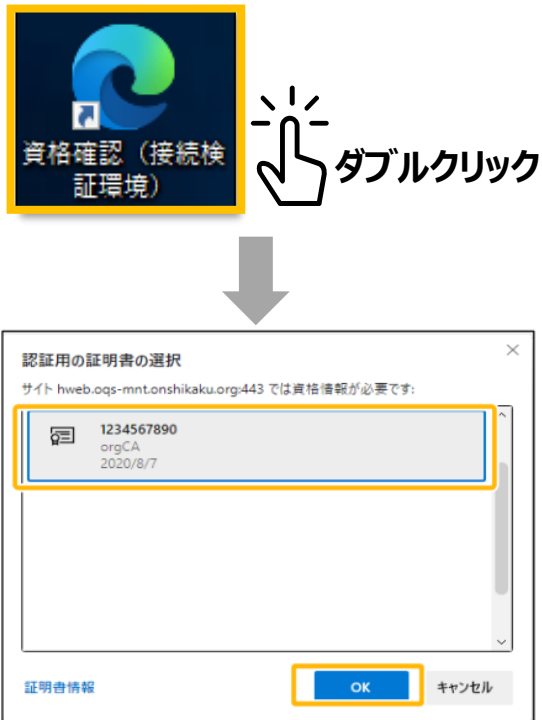
連携アプリケーションのインストールが完了していないため、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、『**連携アプリケーション導入手順書 3. 資産の複写**』に沿ってインストールしてください。

手順1は完了です。

2

連携アプリケーション用アカウントの確認

1. **資格確認端末**のデスクトップ画面に用意されている「**資格確認（接続検証環境）**」のアイコン（※1）をダブルクリックします。[認証用の証明書の選択]画面が表示されるので、認証用の証明書（自医療機関コードのもの）をクリックし、《OK》をクリックします。



2. [オンライン資格確認等システム]画面が表示されます。《システムの利用を始める》をクリックします。



（※1）アイコンがない場合や該当のアイコンが不明な場合は、システム事業者にご確認ください。

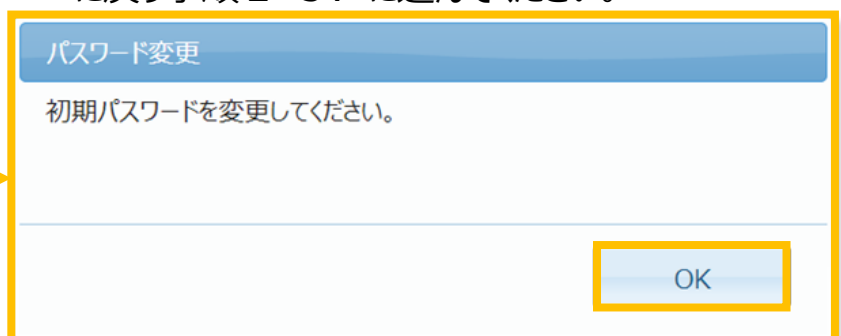
3. [ログイン]画面が表示されたら、管理アカウント（※2）の「ユーザーID、パスワード」を入力し、《ログイン》をクリックします。



4. ログイン後に[パスワード変更]画面の表示有無を確認します。

初期パスワード変更が完了している場合
[パスワード変更]画面は表示されないため、**手順 2-5.** に進んでください。

初期パスワード変更が完了していない場合
[パスワード変更]画面が表示されるため、《OK》をクリックし、『**オンライン資格確認等操作マニュアル(一般利用者・医療情報閲覧者編) 第1章 4 パスワードを変更する**』に沿って、変更してください。パスワードの変更後、メニュー画面に戻り**手順 2-5.** に進んでください。



（※2）オンライン資格確認等システムへログインする際の**管理アカウント**を作成していない場合は、『**オンライン資格確認等システム操作マニュアル(管理者編)**』をご確認ください。

2

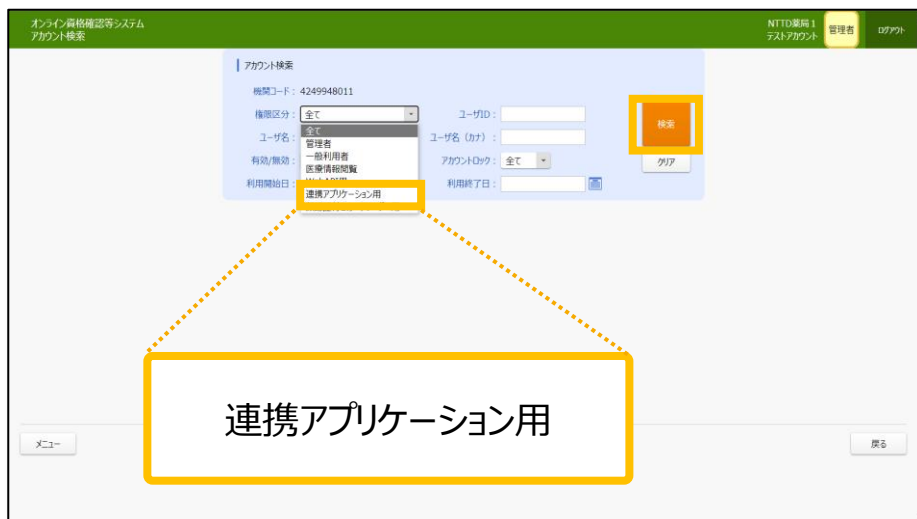
連携アプリケーション用アカウントの確認

5. [メニュー]画面が表示されます。アカウント情報管理の《アカウント管理（更新）》をクリックします。



アカウント管理（更新）

6. [アカウント検索]画面が表示されます。権限区分から「連携アプリケーション用」を選択し、《検索》をクリックします。



連携アプリケーション用

7. 検索結果が表示されます。

連携アプリケーション用のアカウント「R0XXX」が表示される



連携アプリケーション用のアカウント作成が完了しているため、右上の《ログアウト》をクリックし、**手順3 環境切替えツールの確認**に進んでください。

連携アプリケーション用のアカウント「R0XXX」が表示されない

連携アプリケーション用のアカウント作成が完了していないため、『医療機関向けセットアップ手順書（電子処方箋抜粋）』の『2 連携アプリケーション用アカウント作成・資格設定をする』に沿ってアカウント作成、資格情報マネージャーの設定等を実施してください。アカウント作成、資格情報マネージャーの設定等が完了したら、手順3 環境切替えツールの確認に進んでください。

手順2は完了です。

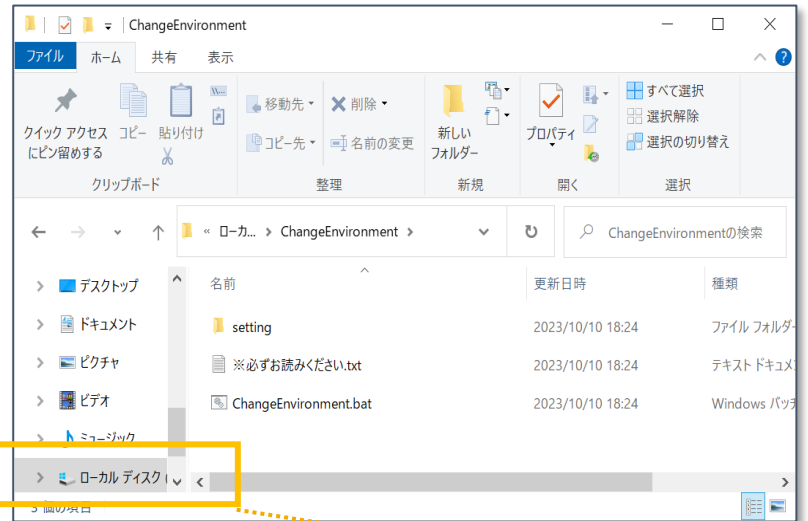
3

環境切替えツール（※）の確認

1. **資格確認端末**の《スタート》ボタンを右クリックすると、メニューが表示されます。メニューから《エクスプローラー》をクリックします。

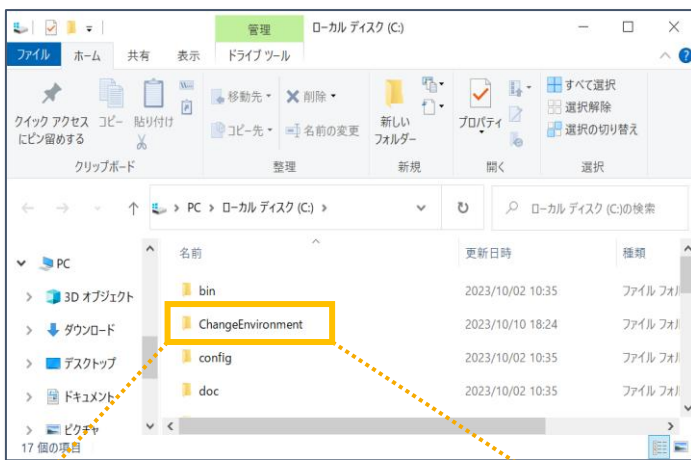


2. [エクスプローラー]が表示されます。《ローカルディスク (C:)》又は《Windows (C:)》をクリックします。



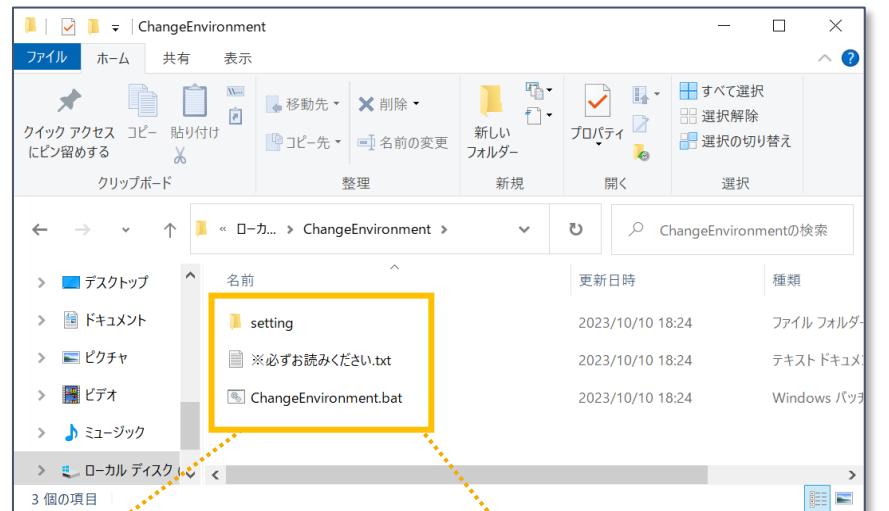
ローカルディスク(C:)
または
Windows(C:)

3. ローカルディスク (C:) 又はWindows (C:) に《ChangeEnvironment》フォルダがあるか確認します。



ChangeEnvironment

4. 《ChangeEnvironment》フォルダをダブルクリックすると、以下のフォルダとファイルが表示されます。



settingフォルダ
※必ずお読みください.txt
ChangeEnvironment.bat

《ChangeEnvironment》フォルダが**表示される**
環境切替えツールのインストールが完了しているため、**手順3-4.**に進んでください。

《ChangeEnvironment》フォルダが**表示されない**
環境切替えツールのインストールが完了していないため、システム事業者にご確認の上、切替えツールをインストールしてください。

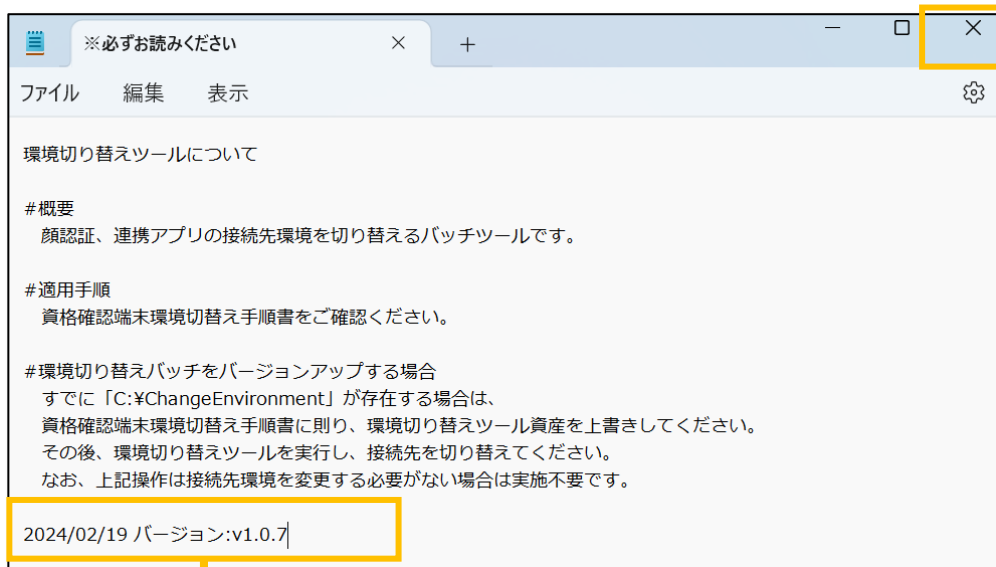
(※) 環境切替えツールとは、連携アプリケーションの接続する環境を切り替えるためのツールです。

3

環境切替えツールの確認

5. 「必ずお読みください.txt」をダブルクリックをして開きます。インストールされた環境切替えツールのバージョンが記載されています。以下の照会先URLのファイルに記載されている、最新のバージョン情報と比較し、インストールされている環境切替えツールが最新バージョンと同じか確認してください。

■ 照会先URLは[こちら](#)



「資格確認端末セットアップ手順書」において導入いただく支払基金が提供するアプリケーション等情報
※2024/2/19時点（左記の日付にバージョンアップしたアプリケーションのバージョン情報を赤字で記載）

#	アプリケーション名称	掲載ファイル	バージョン情報
1	連携アプリケーション	OQSComApp.zip	3.0.0
2	ブラウザ拡張プラグイン (顔認証ライブラリ含む)	OQSFaceApp.zip	3.0.1
3	配信アプリケーション	OQSDistroApp.zip	2.0.4
4	M PKIクライアント	CybertrustManagedPKIClient.zip	1.2.0.0
5	環境切替えツール	ChangeEnvironment.zip	1.0.7
6	顔認証付きカードリーダーアプリケーション		
	- 富士通Japan株式会社		0.1
	- パナソニック コネクト株式会社		1.1.4.19
	- 株式会社アルメックス		1.1.4.19
			1.24
	アップデート管理ツール カードリーダー本体		1.0.17 1.3.15
	キヤノンマーケティング ジャパン株式会社	管理アプリケーション アプリケーション	1.9.0.0 1.9.0.0
		OSソフトウェア	1.8.2.0
	- アトラス情報サービス株式会社	アプリケーション カードリーダー本体	1.6.3.0 1.6.1.0

バージョン情報を確認

最新バージョンの場合

最新バージョンの環境切替えツールのインストールが完了しているため、[必ずお読みください.txt]の右上の《閉じる》ボタンをクリックし、**手順4 接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）**に進んでください。

最新バージョンではない場合

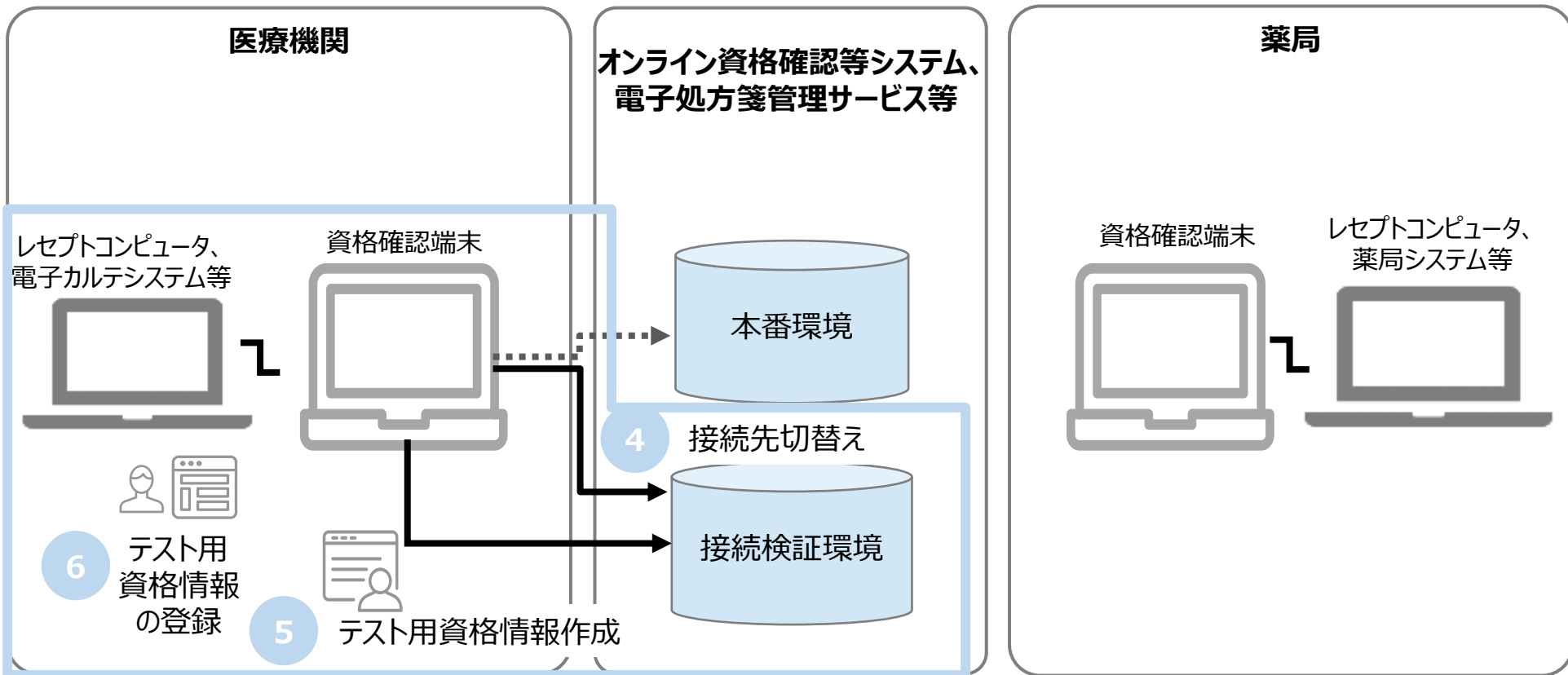
システム事業者にご確認の上、最新バージョンの環境切替えツールをインストールしてください。



手順3は完了です。

7. 連携テスト実施手順 -テスト準備-

テスト準備のフェーズでは、オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービスの接続先を本番環境から**接続検証環境（テスト環境）**へ切り替え、オンライン資格確認時に使用するテスト用の資格情報を作成します。

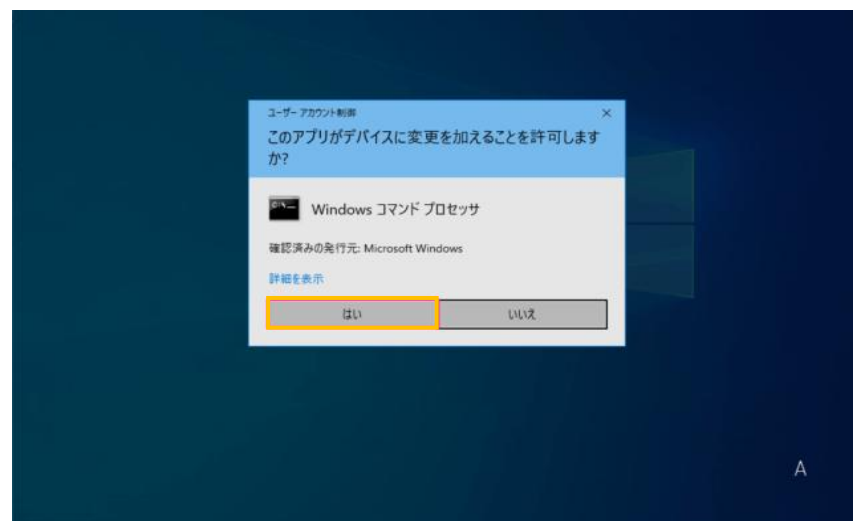
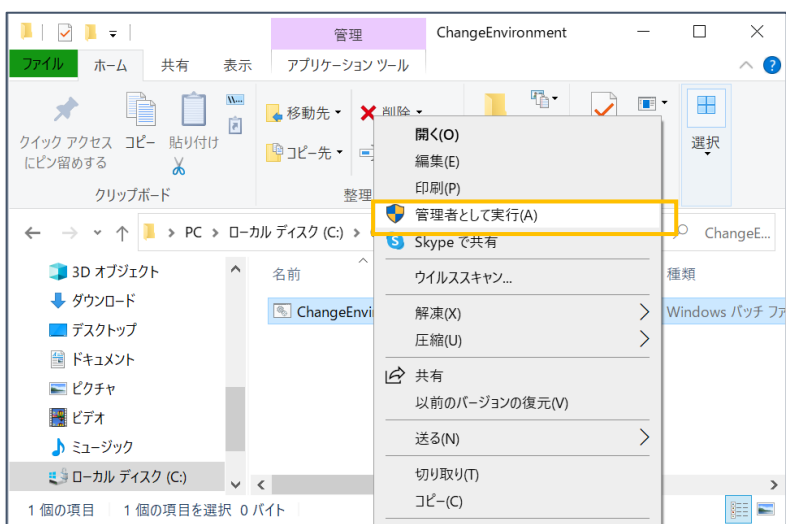


4

接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

1. 手順3-1. ～3-3. と同様に**資格確認端末**のローカルディスク（C:）またはWindows（C:）にある、《ChangeEnvironment》フォルダをクリックします。《ChangeEnvironment》フォルダ内の《ChangeEnvironment.bat》を右クリックし、表示されるメニューから《管理者として実行》をクリックします。

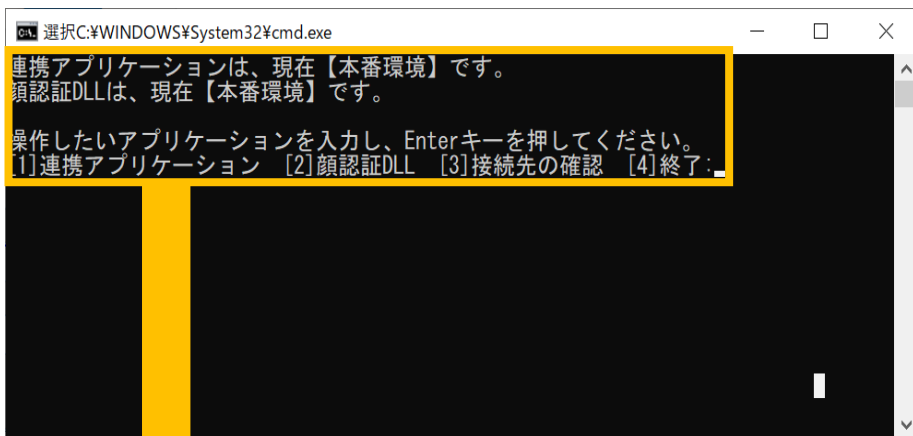
2. [Windows コマンド プロセッサ]画面が表示された場合、《はい》をクリックします。表示されない場合は、手順手順4-3. に進んでください。



4

接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

3. [アプリの選択]画面が表示されます。



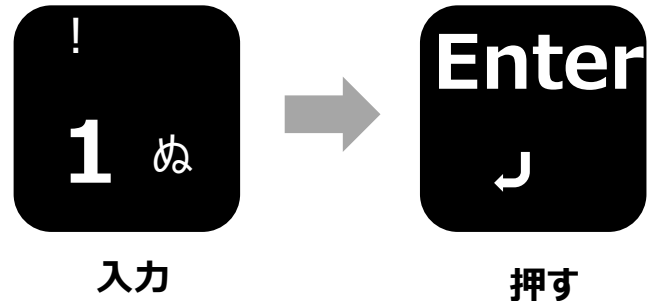
● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

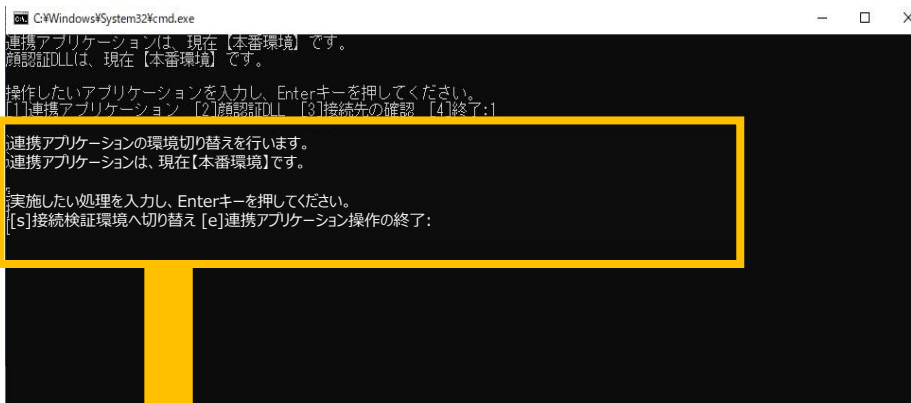
操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。

[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了 :

4. 連携アプリケーションの接続先を切り替えるに当たりメニューから[1]連携アプリケーションを選択するため、キーボードで **1** を入力し、**Enter** キーを押します。



5. 環境切替えを行う[サブメニュー]画面が表示されます。



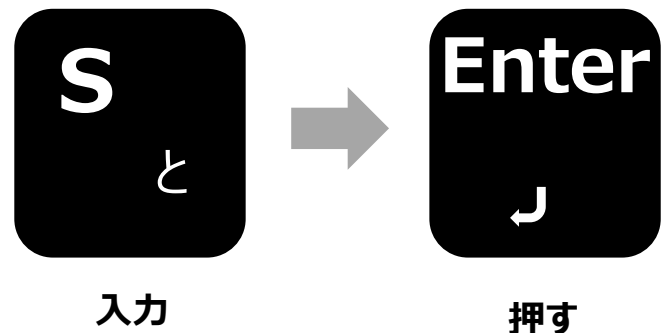
● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションの環境切り替えを行います。
連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。

[s]接続検証環境へ切り替え [e]連携アプリケーション操作の終了 :

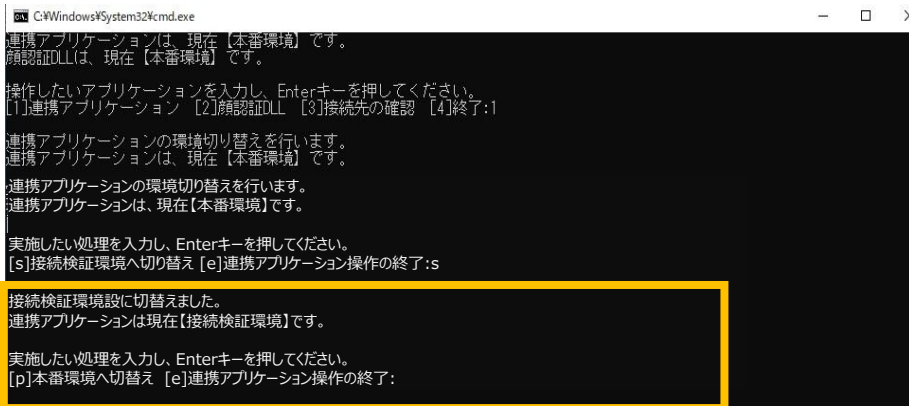
6. 接続検証環境へ切替えを行う場合、キーボードで **s** を入力し、**Enter** キーを押します。



4

接続検証環境（テスト環境）への接続設定（切替え）

7. 接続検証環境に切り替えた[メッセージ]画面が表示されます。

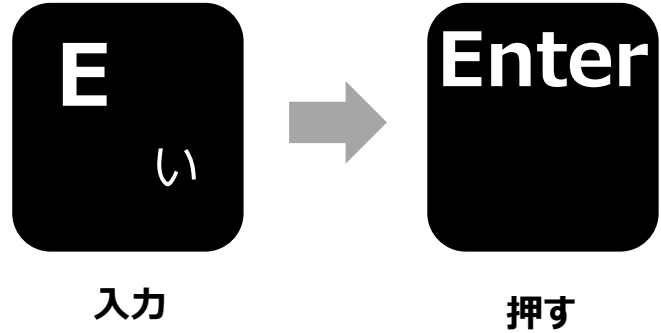


● 接続検証環境に切り替えた場合の画面イメージ

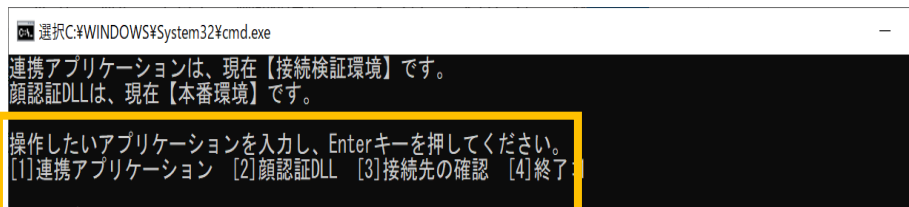
接続検証環境に切り替えました。
 連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。
 [p]本番環境へ切替え [e]連携アプリケーション操作の終了:

8. 連携アプリケーションの操作を終了するため、キーボードでeを入力し、Enterキーを押します。

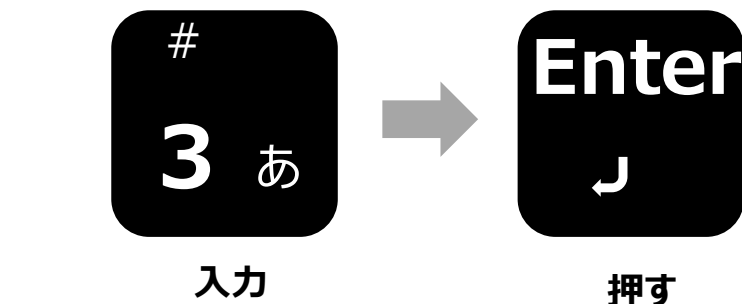
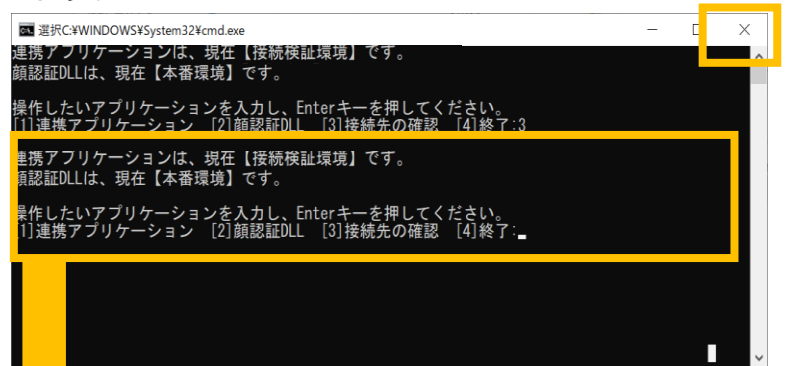


9. [アプリの選択]画面が表示されます。接続先を再度確認するため、キーボードで3を入力し、Enterキーを押します。



操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。
 [1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:

10. 接続検証環境に接続されていることを再度確認し、右上の《閉じる》ボタンをクリックし、切替えツールを終了します。



● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションは、現在【接続検証環境】です。
 顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

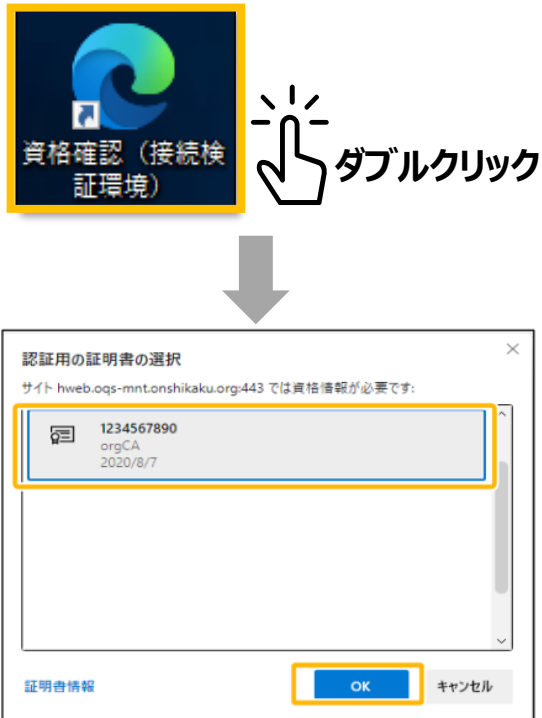
操作したいアプリケーションを入力しEnterキーを押してください。
 [1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:

手順4は完了です。

5

テスト用資格情報（※）の作成

1. **資格確認端末**のデスクトップ画面に用意されている「**資格確認（接続検証環境）**」のアイコン（※1）をダブルクリックします。[認証用の証明書の選択]画面が表示されるのが表示されます。認証用の証明書（自医療機関コードのもの）をクリックし、《OK》をクリックします。



（※1）アイコンがない場合や該当のアイコンが不明な場合は、システム事業者にご確認ください。

2. [オンライン資格確認等システム]画面が表示されます。《システムの利用を始める》をクリックします。



3. ログイン画面が表示され、管理アカウント（※2）の「ユーザーID、パスワード」を入力し、《ログイン》をクリックします。



4. [メニュー]画面が表示されます。環境設定情報管理の、《テスト用データセットアップ》をクリックします。



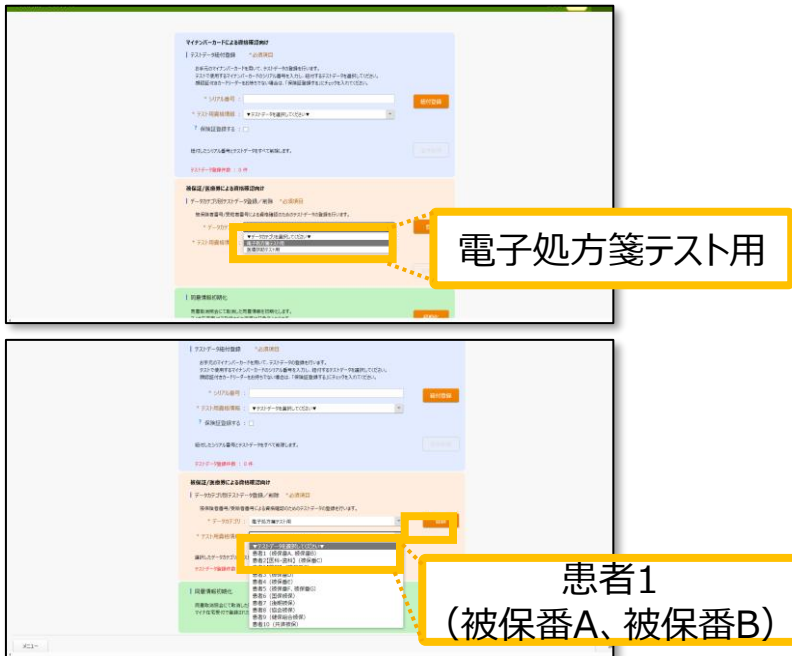
（※2）オンライン資格確認等システムへログインする際の**管理アカウント**を作成していない場合は、『**オンライン資格確認等システム操作マニュアル(管理者編)**』をご確認ください。

※テスト用資格情報とは、テストでの資格確認に使用する資格情報を指します。

5

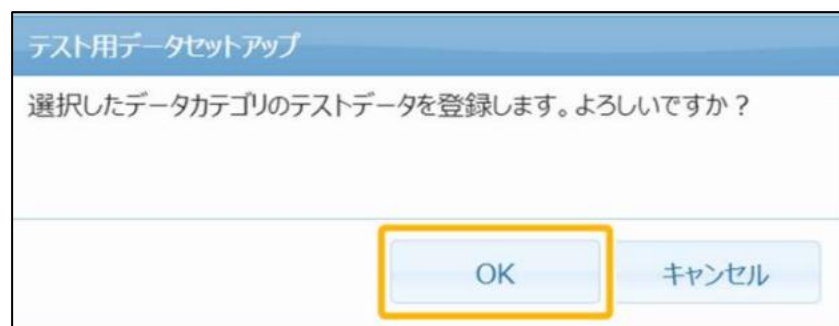
テスト用資格情報の作成

5. [テスト用データセットアップ]画面が表示されます。データカテゴリ別テストデータ登録/削除の《データカテゴリ》から「**電子処方箋テスト用**」、テスト用資格情報からテストで使用する資格情報として、「**患者1（被保番A、被保番B）**」を選択し、《登録》をクリックします。
(※)

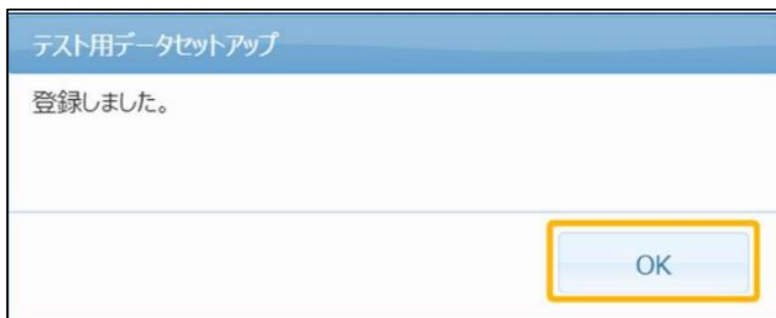


(※) 今回は患者1の資格情報を使用しますが、その他の資格情報も用意しておりますので、テスト内容に合わせてご活用ください。

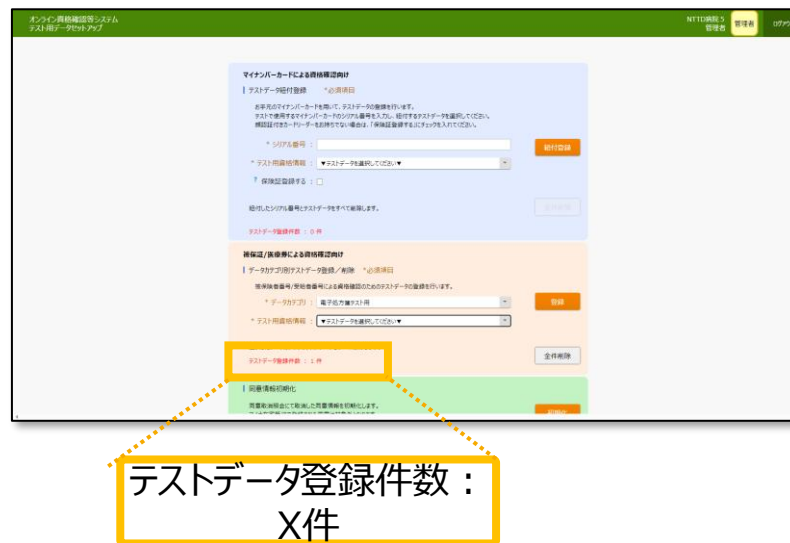
6. 確認メッセージが表示されます。《OK》をクリックします。



7. 登録完了メッセージが表示されます。《OK》をクリックします。



8. [テスト用データセットアップ]画面が表示され、データカテゴリの電子処方箋テスト用に登録されている件数が表示されたら、登録完了です。



手順5は完了です。

6

レセプトコンピュータ等へのテスト用資格情報の登録

1. **電子カルテシステム、レセプトコンピュータ等**で手順5で登録したテスト用資格情報を用いて、テスト患者を作成します。(※1)

テスト患者



テスト用資格情報



- 手順5で作成したテスト用資格情報（患者1）は以下のとおりです。(※2)

資格情報が紐付く患者	資格情報	有効期間	区分	保険制度	本家区分	自己情報提供不可フラグ	薬剤情報の同意有無	閲覧同意年月日	処方箋発行形態
患者1	被保番A	2022/9/20以降	01：一般	健康保険組合	本人	—	○	2024/2/1	電子処方箋

保険者番号	記号	番号(※3)	枝番	生年月日	限度額適用認定証区分	限度額適用認定証適用区分
06140248	101	AAAAAAAAAA Ax101	01	1990/01/01	01	A01

(※1) テスト患者の作成方法が不明の場合は、システム事業者にお問い合わせください。

(※2) 今回は患者1の資格情報を使用しますが、その他の資格情報は医療機関等ONSに『医療機関等運用テスト向けテストデータ一覧（資格情報、薬剤情報）等』を掲載していますので、システム事業者の確認の上、テスト内容に合わせてご利用ください。

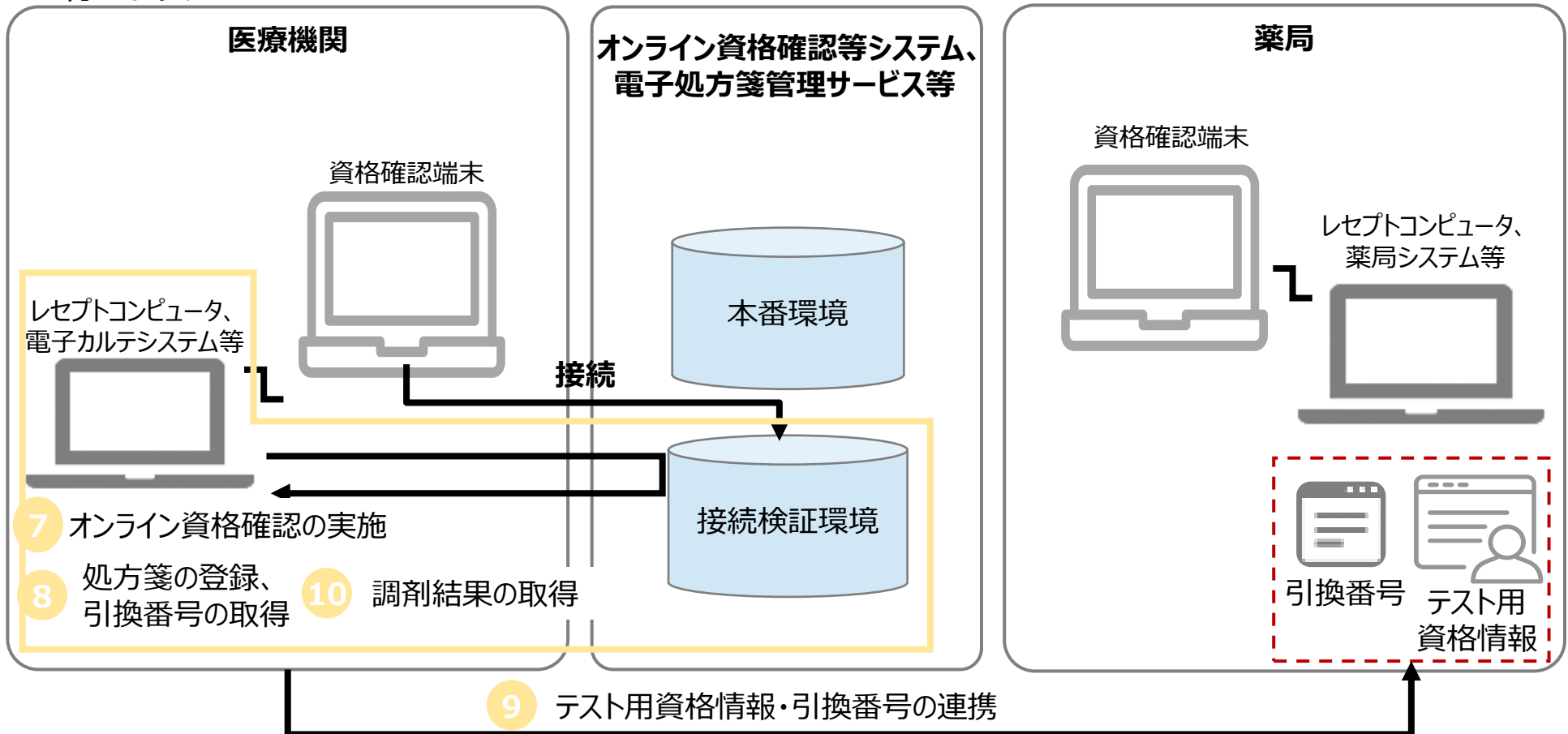
(※3) AAAAAAAAAAには医療機関コードを入力してください。



手順6は完了です。

8. 連携テスト実施手順 -テスト実施-

テスト実施のフェーズでは、テスト患者・テスト用資格情報を用いたオンライン資格確認の実施、医療機関で処方箋登録・引換番号の取得及び薬局への連携、（薬局側の調剤結果登録後）調剤結果の取得まで行います。



7 オンライン資格確認の実施

1. **レセプトコンピュータ等**で事前に登録したテスト用資格情報を照会、有効かどうかを確認し、資格情報を取り込みます。
2. **レセプトコンピュータ等**で処方箋発行形態として、電子処方箋を選択し、登録します。



手順7は完了です。

8

処方箋の登録、引換番号の取得

1. テスト用の処方箋情報を用いて、**電子カルテシステム等**に処方内容を入力します。

Image

患者ID:00000 資格 太郎	2000年x月x日 生 22歳xか月 男性		
処方日: 2022年X月XX日 外来 XX科 担当医: 資格 一郎			
薬剤	xxxxx 100mg	3	錠
用法	毎食後	10	日分

2. **電子カルテシステム等**に入力した処方内容に対する重複投薬等チェックを行い、結果を確認します。

Image

処方チェック結果			
チェック区分	入力薬剤名	チェック対象薬剤名	備考
併用禁忌 チェック	ハルシオン 0.25mg錠	イトリゾールカプセル50	【エラー】他の薬剤と服用【指示】警告
併用禁忌 チェック	アスパラカリウム錠 300mg	セララ錠25mg ※他院（調剤済）	【エラー】他の薬剤と服用【指示】警告 [血清カリウム値の上昇のおそれがある]

3. 処方箋情報に医師等の電子署名を付与し、電子処方箋管理サービスに処方箋情報を登録します。

Image

患者ID:00000 資格 太郎	2000年x月x日 生 22歳xか月 男性		
処方日: 2022年X月XX日 外来 XX科 担当医: 資格 一郎			
薬剤	xxxxx 100mg	3	錠
用法	毎食後	10	日分

4. **電子カルテシステム等**から、引換番号及び処方箋参考情報が印字されたPDFファイルを取得します。

Image

処方内容 (控え) ページ: 1 / 1

引換番号: 123456

マイナンバーカードをお持ちでない方は上記の引換番号を薬局にお伝えください

氏名	発行年月日	使用期限
特シ 太郎 基金 太郎	2023年 1月31日	2023年 2月 4日

※記載無しは発行年月日を含めて4日以内

※この処方内容 (控え) はラフィル地方によるものです (3 回)
※ラフィル地方圏の場合は上記に「シ」と輸送回数記載されます。お薬を受け取った後、
次回調剤予定日が以下に記載されますので、その前後7日以内に関局に来てください。

<input type="checkbox"/> 1回目調剤日 (年 月 日)	次回調剤予定日 (年 月 日)
<input type="checkbox"/> 2回目調剤日 (年 月 日)	次回調剤予定日 (年 月 日)
<input type="checkbox"/> 3回目調剤日 (年 月 日)	次回調剤予定日 (年 月 日)

(医療機関コード) 13-1-1234567
〒106-0004 東京都港区新橋2丁目1番地3号

医療法人○○会 基金病院
TEL 03-0000-0001 FAX 03-0000-0002
(処方医師名) 医師 太郎

【処方内容】

変更不可	薬剤名	回数	日分
	RF001 テスト薬アイウ錠 10mg錠	3錠	28日分
×	RF002 テスト薬XX1錠 20mg錠	3錠	28日分
	RF003 テスト薬サシスセツタフナニ錠 30mg錠	1錠	28日分
×	RF004 テスト薬abc錠 20mg錠	3錠	28日分
	テスト薬DE錠 20mg錠	3錠	28日分
	テスト薬fgh錠 50mg錠	3錠	14日分
	RF005 テスト薬ijklm錠 25mg錠	3錠	28日分
×	RF006 テスト薬nop錠 30mg錠	3錠	28日分
	RF007 テスト薬hijpq錠 30mg錠	2錠	28日分
	RF008 テスト薬OPQR錠 20mg錠	3錠	28日分
	RF009 テスト薬vwxyz錠 50mg錠	2錠	28日分

保険者番号 06132013 生年月日 1955年 1月 1日
記号・番号 18982201・10 (後添) 01 性別 男
公費負担者番号 87654321 公費受給者番号 1234567
患者特定コード 543210987654321

手順8は完了です。

9

テスト用資格情報と引換番号を薬局へ連携

1. 「テスト用資格情報」と「引換番号」を、医療機関から薬局へ連携（口頭、メール、引換番号が記載された処方内容（控え）等で伝達）します。

テスト用資格情報(※)



※手順5で作成したテスト用資格情報（患者1）を指します

引換番号

処方内容(控え) ページ: 1 / 2

引換番号: 123456

※記載した発行年月日を含めて4日間有効

氏名	発行年月日	使用期限
基金 太郎	2023年 1月 31日	2023年 2月 4日

※この処方内容(控え)は3ファイル地方によるものです(3期)
※3ファイル地方の場合は上記に「レ」と記載回数記載されます。お薬を受け取った後、
次回調剤予定日以下に記載されるので、その前後7日以内は薬局に来てください。

□1回目調剤日(年 月 日)	□2回目調剤日(年 月 日)	□3回目調剤日(年 月 日)	次回調剤予定日(年 月 日)

【医療機関コード】 13-1-1234567
〒100-0004 東京都港区新橋2丁目1番地3号
医療法人○○会 基金病院
TEL. 03-0000-0001 FAX 03-0000-0002
(地方医師名) 医師 太郎

【処方内容】

変更不可	処方	剤量	回数	時間
	RF001	テスト薬Aイブ錠 10mg錠	3錠	28日分
X	RF002	テスト薬XX錠 20mg錠	3錠	28日分
	RF003	テスト薬サシセツタツアトニ錠 30mg錠	1錠	28日分
	RF004	テスト薬abc錠 20mg錠	3錠	28日分
X		テスト薬DE錠 20mg錠	3錠	28日分
		テスト薬fgh錠 50mg錠	3錠	14日分
	RF005	テスト薬ghijkl錠 25mg錠	3錠	28日分
X	RF006	テスト薬klm錠 20mg錠	3錠	28日分
	RF007	テスト薬nop錠 30mg錠	2錠	28日分
	RF008	テスト薬opqr錠 20mg錠	3錠	28日分
	RF009	テスト薬stuvw錠 50mg錠	2錠	28日分

保険者番号 06132013 生年月日 1955年 1月 1日
記号・番号 1892201・10 (注) 01 性別 男
公費負担番号 07654321 公費受給者番号 1234567
患者特定コード 543210987654321

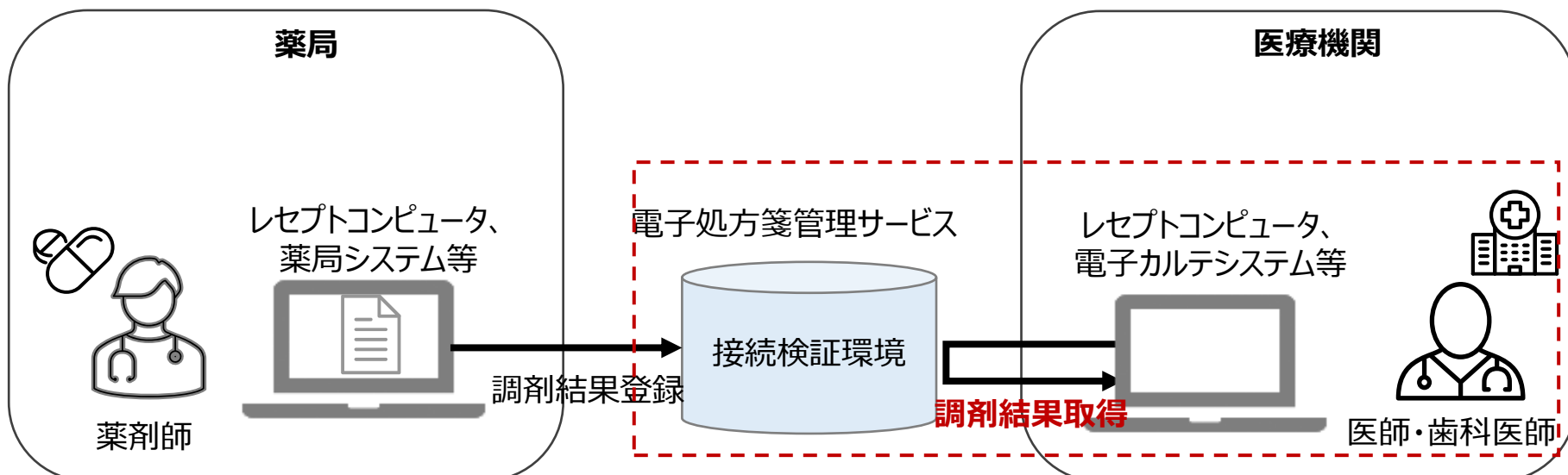


手順9は完了です。

10

(薬局側の調剤結果登録後) 調剤結果の取得

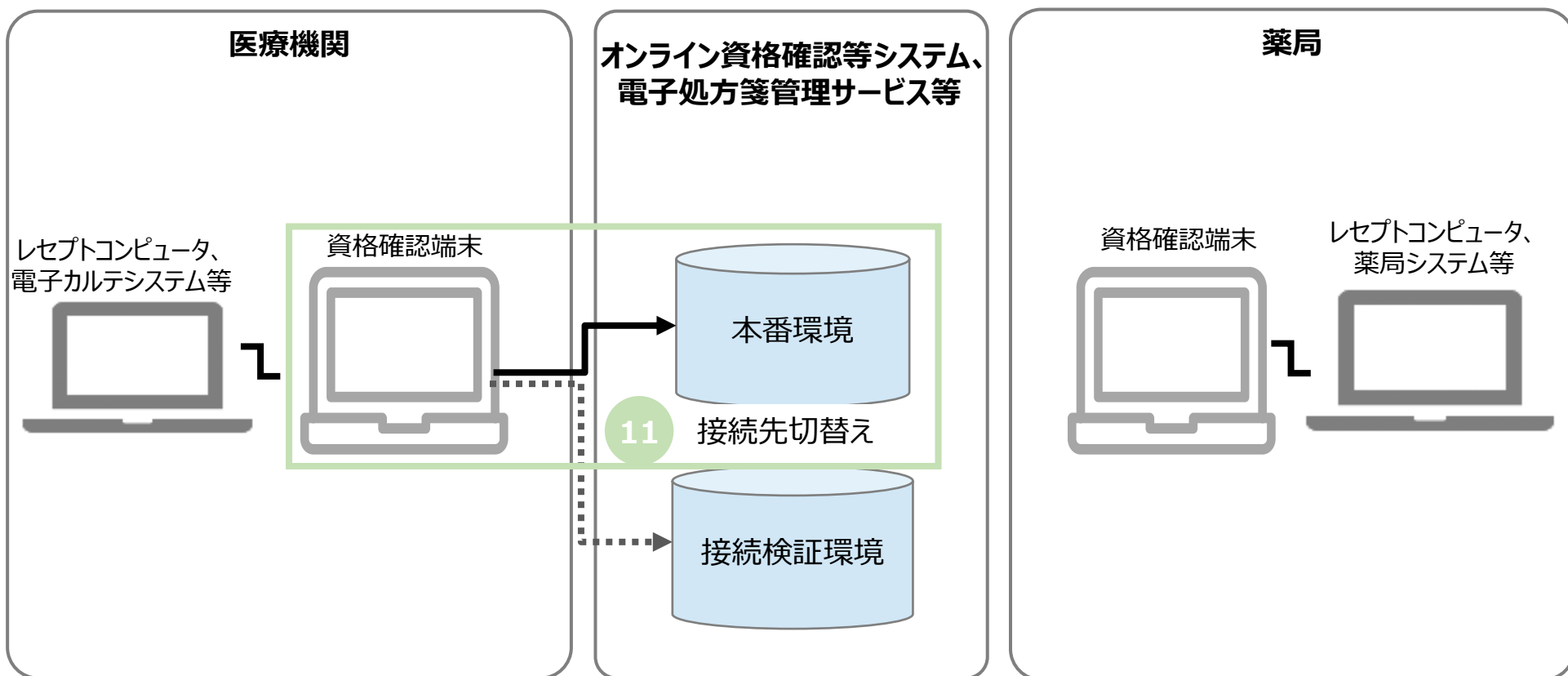
1. (薬局側の調剤結果登録完了後) 医療機関が登録した処方箋に対する薬局の調剤結果を、電子カルテシステム等から取得し確認します。



手順10は完了です。

9. 連携テスト実施手順 -テスト実施後-

テスト実施後のフェーズでは、オンライン資格確認等システム、電子処方箋管理サービス等を接続検証環境から**本番環境**へ切替え（切戻し）を行います。

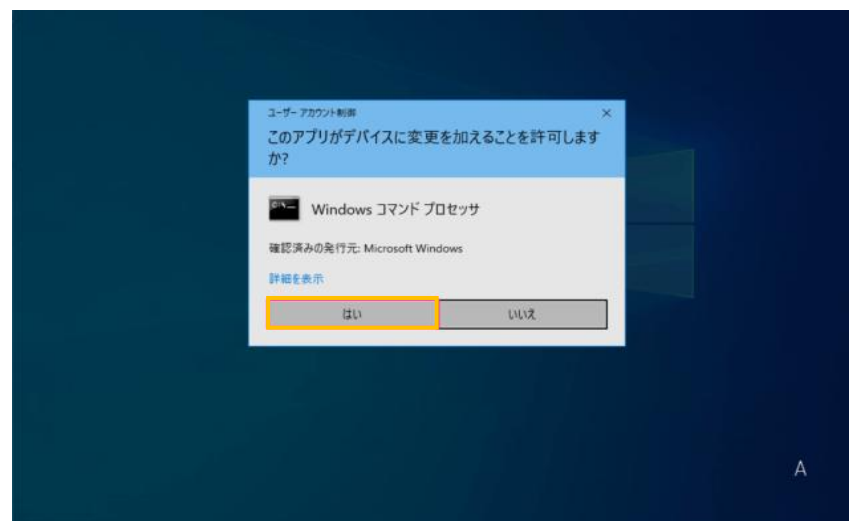
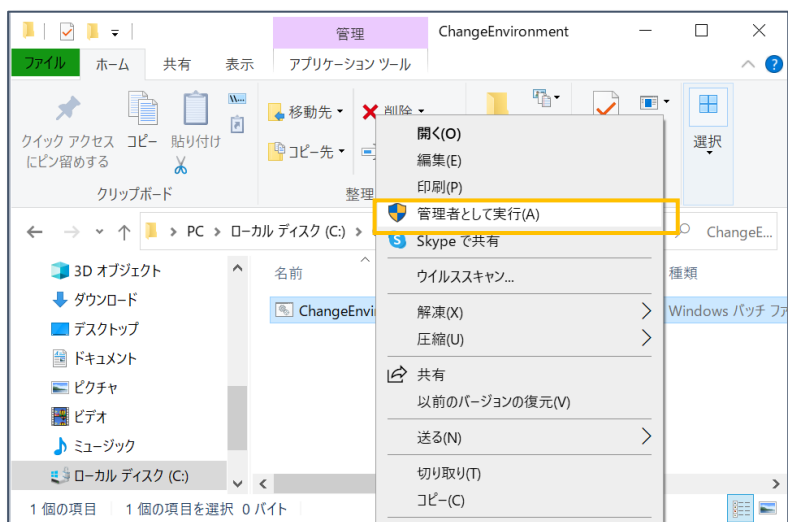


※通常の業務でオンライン資格確認、電子処方箋を使用するために、テスト実施後は、必ず本番環境へ再度の切替え（切戻し）を行ってください。

11 本番環境への接続設定（切戻し）

1. 手順3-1. ～3-3. と同様に**資格確認端末**のローカルディスク（C:）またはWindows（C:）にある、《ChangeEnvironment》フォルダをクリックします。《ChangeEnvironment》フォルダ内の《ChangeEnvironment.bat》を右クリックし、表示されるメニューから《管理者として実行》をクリックします。

2. [Windows コマンド プロセッサ]画面が表示された場合、《はい》をクリックします。表示されない場合は、手順手順11- 3. に進んでください。



11

本番環境への接続設定 (切戻し)

3. [アプリの選択]画面が表示されます。



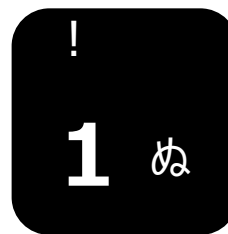
● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションは、現在【**接続検証環境**】です。
顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

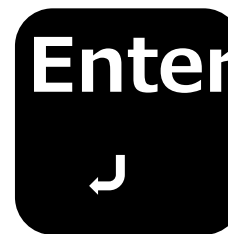
操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。

[1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了 :

4. 連携アプリケーションの接続先を切り替えるに当たりメニューから[1]連携アプリケーションを選択するため、キーボードで **1** を入力し、**Enter**キーを押します。

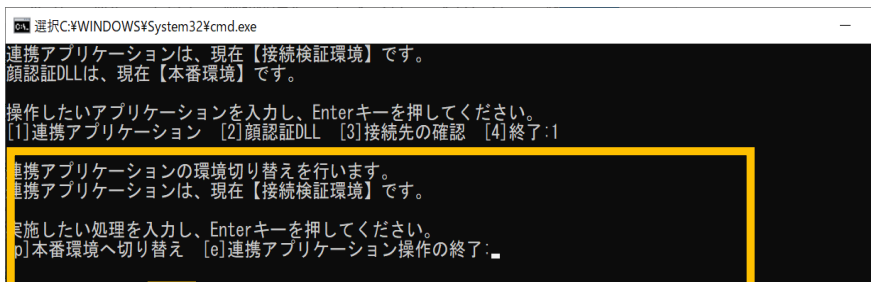


入力



押す

5. 環境切替えを行う[サブメニュー]画面が表示されます。



● 接続検証環境に接続されている場合の画面イメージ

連携アプリケーションの環境切り替えを行います。
連携アプリケーションは、現在【**接続検証環境**】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。

[p]本番環境へ切り替え [e]連携アプリケーション操作の終了 :

6. 本番環境へ切替えを行う場合、キーボードで **p** を入力し、**Enter**キーを押します。



入力

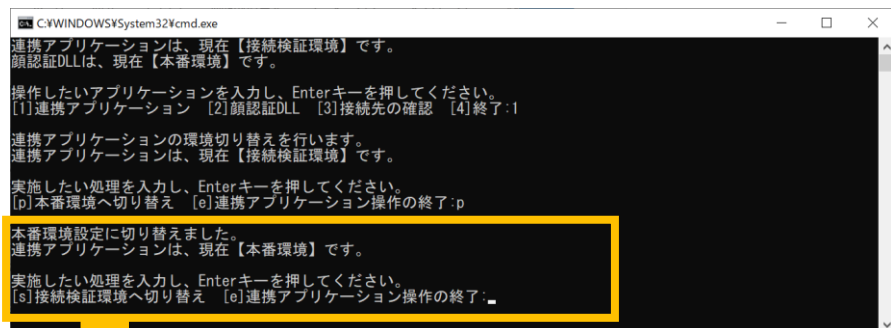


押す

11

本番環境への接続設定 (切戻し)

7. 本番環境に切り替えたメッセージ画面が表示されます。

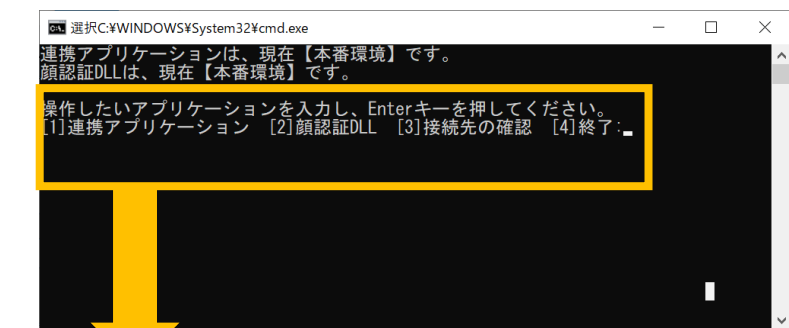


● 本番環境に切り替えた場合の画面イメージ

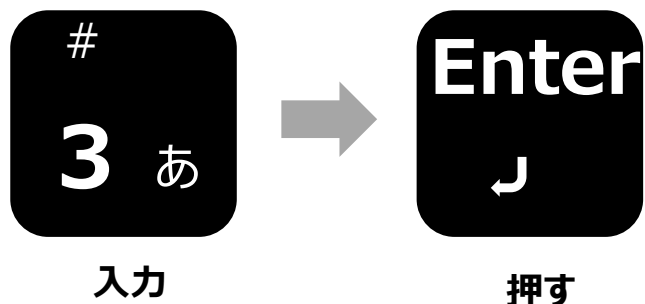
本番環境設定に切り替えました。
 連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。

実施したい処理を入力し、Enterキーを押してください。
 [s]接続検証環境へ切替え [e]連携アプリケーション操作の終了:

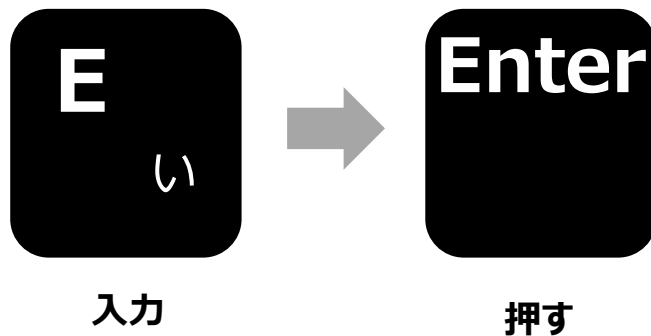
9. [アプリの選択]画面が表示されます。接続先を再度確認するため、キーボードで **3** を入力し、**Enter**キーを押します。



操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。
 [1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:



8. 連携アプリケーションの操作を終了するため、キーボードで **e** を入力し、**Enter**キーを押します。



10. 本番環境に接続されていることを再度確認し、右上の閉じるボタンをクリックし、切替えツールを終了します。



● 本番環境に接続されている場合の画面イメージ

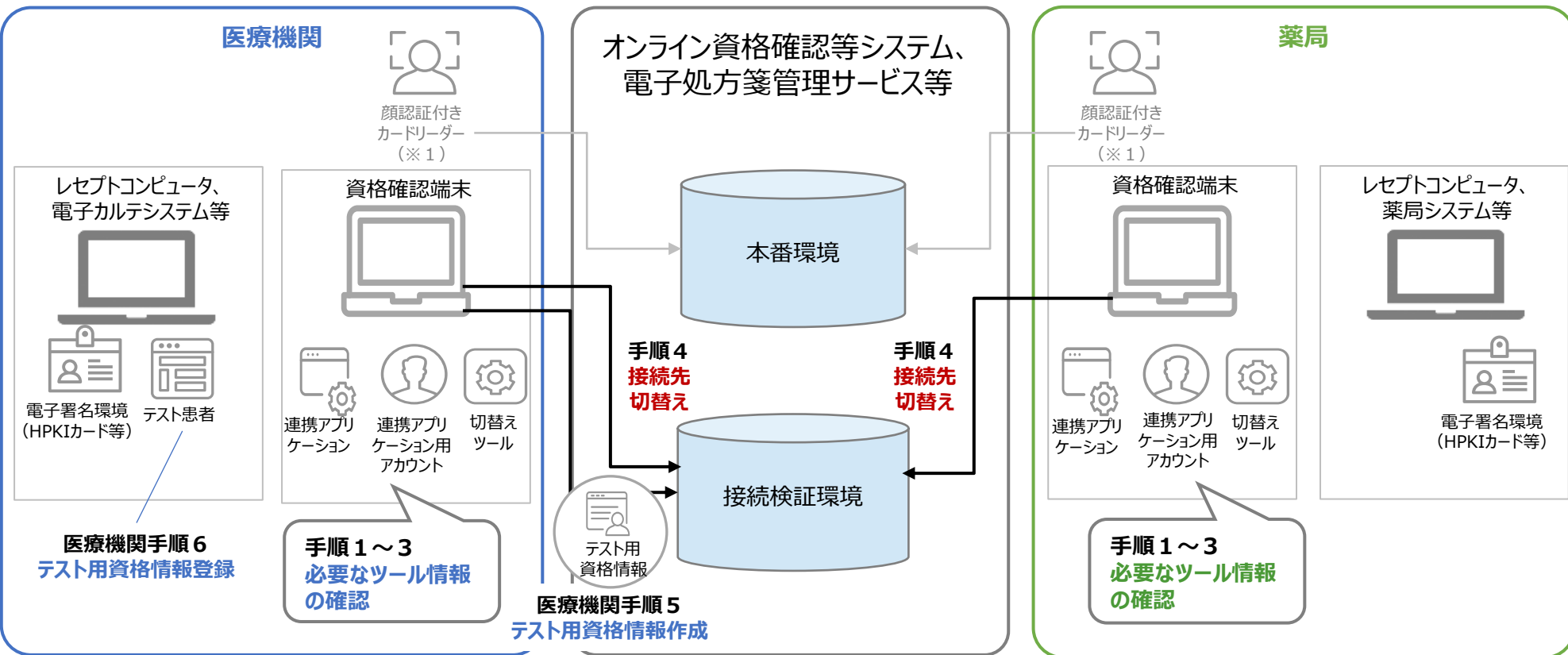
連携アプリケーションは、現在【本番環境】です。
 顔認証DLLは、現在【本番環境】です。

操作したいアプリケーションを入力し、Enterキーを押してください。
 [1]連携アプリケーション [2]顔認証DLL [3]接続先の確認 [4]終了:

手順11は完了です。

環境確認～連携テスト準備完了時点イメージ（詳細版）

環境確認から連携テスト準備完了時点の一連のイメージ（詳細版）を記載しています。

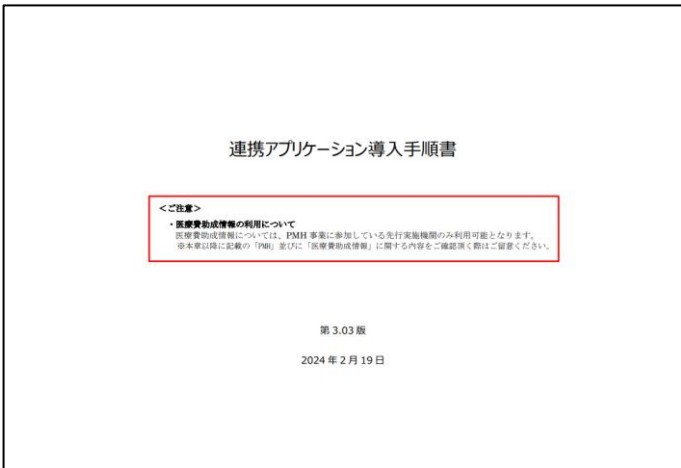


(※1) 顔認証付きカードリーダーを用いたテストは当該連携テストにおいて実施のステップ対象外のため、切替えは行わずに、「本番環境」に接続した状態としてください。

参照資料一覧

■ 該当手順1-5.

『連携アプリケーション導入手順書』



[こちら](#)



■ 該当手順2-3.

『オンライン資格確認等操作マニュアル（管理者編）』

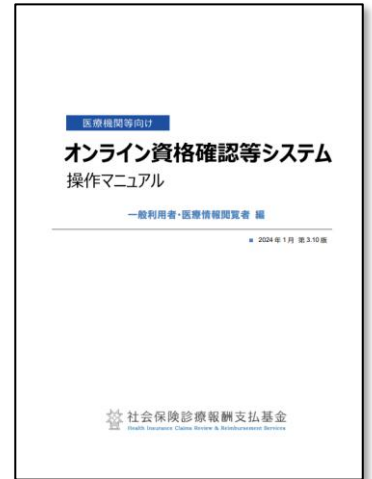


[こちら](#)



■ 該当手順2-4.

『オンライン資格確認等操作マニュアル（一般利用者・医療情報閲覧者編）』

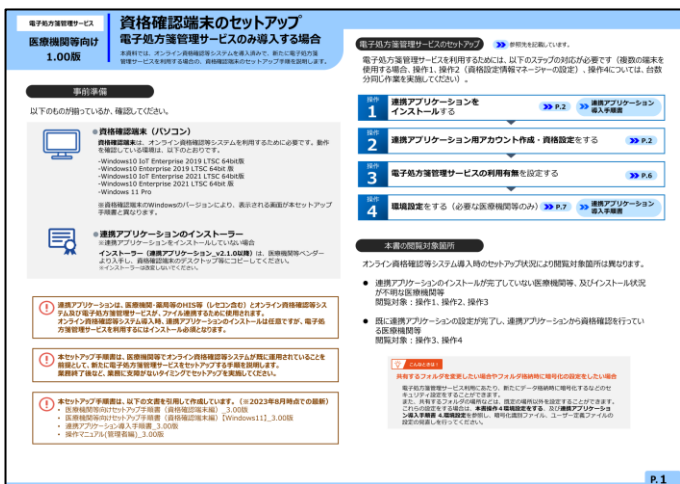


[こちら](#)



■ 該当手順2-7.

『医療機関等向けセットアップ手順書（電子処方箋抜粋版）』



[こちら](#)



■ 該当手順7~10

『病院・診療所向けオンライン資格確認等システム運用マニュアル』



[こちら](#)



改訂履歴

日付	版数	改訂内容
令和6年3月29日	1.00版	初版作成
令和7年12月1日	1.10版	・令和7年12月2日以降、健康保険証が使用できなくなることに伴う内容の更新